



こんにちは おかや

財団法人 岡谷市国際交流協会(OIEA)
 〒394-8510 岡谷市幸町8-1 岡谷市役所4階
 TEL: (0266)24-3226 FAX: (0266)24-3227
 E-mail: oiea@oiea.jp URL: www.oiea.jp
 2008年4月15日発行 春号

～このニュースレターは財団法人岡谷市国際交流協会が外国籍市民の皆様には日本の文化をお伝えしながら、様々な生活に役立つ情報を提供しようと季節ごと年4回発行しております。ご意見、お問い合わせは上記へお寄せください。

美しい地球を守るために私たちにできること

岡谷市国際交流協会では、2月17日(日)に第3回国際座談会を開催しました。今回の座談会テーマは「美しい地球を守るために私たちにできること」。地域在住の10カ国16名のみなさんが集まって、地球温暖化について話し合いました。参加者のみなさんの国の中には温暖化の影響で面積が狭くなってきている国や、このままでは島が沈んでしまう危機に直面している国もありました。みなさんも一緒に、地球温暖化について考えてみませんか？



地球は太陽のエネルギーで温められ、その熱の一部を宇宙に放出しています。大気中にある二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスは、この熱を吸収して大気を温め、地球を生物が暮らしやすい温度に保っています。ところが温室効果ガスの濃度が高くなると温められた熱が宇宙に放出されにくくなり、地表の温度が必要以上に上がってしまいます。これが地球温暖化です。

地球の平均地上気温は20世紀中に約0.6℃上昇し、1990年から2100年までに地球の気温は1.4～5.8℃上昇すると予測されています。たいした温度上昇ではないと感じるかもしれませんが、氷河期でさえ現在よりも3～6℃低くただけでしたから、この変化が地球にどれだけの影響を及ぼすか計りしれません。また、20世紀の間、海面は12～22cm上昇しました。今後は2100年までにさらに18～59cm上昇すると

予測されていますが、仮に2080年までに海面が40cm上昇した場合、沿岸域や沿岸低地に影響が出てきます。

そのほか生物の絶滅危機が拡大したり、マラリアなどの熱帯性感染症の発生範囲が広がったり、世界各地で異常気象の発生頻度や強度が増したり、病害虫の増加で穀物生産が大幅に減少し世界的に深刻な食糧難を招く恐れがあったりと、様々な問題がおこるといわれています。温暖化を防止するためには、温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出、発生を抑制することが必要です。そのためには一人ひとりの行動やライフスタイルの見直しが大切です。例えば…

- ・冷房で冷やしすぎない、暖房で暖めすぎない
- ・使っていない部屋の明かりや見ていないテレビをつけっぱなしにしない、また長時間使わない時はコンセントを抜いて待機電力を節約する
- ・ポットやジャーの保温を止める
- ・冷蔵庫にものを詰め込み過ぎない。
- ・水を出しっぱなしにしない
- ・お風呂は冷めないうちに家族で続けて入り、残り湯を洗濯などに使いまわす
- ・買い物にはマイバッグを持っていき、レジ袋はもらわない
- ・できるだけ自家用車ではなく、歩くか自転車、または公共交通機関を利用する
- ・車を駐停車する時にはエンジンを切る



…などなど、今すぐにでも実行できる簡単なことでも、二酸化炭素の排出を減らすことができます。また、それと同時に電気代や水道代、ガソリン代の節約にもなります。

みなさんも今日から早速、見直してみませんか？

☆日本の春の風物詩 ～知って楽しい日本の文化～

茶摘み (ちやつみ)

日本では、緑茶と呼ばれるお茶を主な飲み物としております。

茶摘みとは、そのお茶の木の若芽や葉を摘み取ることで、地域の気候によっても異なりますが、4月中旬から5月下旬の3週間くらいをかけて行われ、特に十八夜(5月2日ごろ)から2、3週間が最盛期となります。摘んだ葉は、蒸した後、その日の夜には揉みあげ、乾燥させます。かつては、若い女性たちが赤いたすきがけに手ぬぐいをかぶり、「茶摘歌」という歌を歌いながら摘んでいたのですが、機械化が進むとともに、昔のしみ



じみとした味わい(情趣)も失われてきてしまいました。

田植え (たうえ)

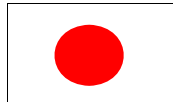
田植えは、苗代で育てた稲の苗を苗代から水田に植え替える作業で、5月から6月にかけて行われます。稲の種まきは、立春から数えて88日目(5月2日)に当たる十八夜(5月2日)前後がピークとなり、梅雨に入ってから水田に移します。現在では農業機械である田植機を使うのが一般的ですが、発明される前は、足元の悪い水田の中で身体を二つ折りにし、腰にびくをつるし、中の苗を手で数本ずつ植えていく過酷で単調な作業でした。米は日本人の主食であるため、収穫の出来不出来は1年の生活を左右します。したがって田植えは、重要な行事であり、かつては村人の協同作業であり神を祭る行事(神事)でもありました。



田植機を使うのが一般的ですが、発明される前は、足元の悪い水田の中で身体を二つ折りにし、腰にびくをつるし、中の苗を手で数本ずつ植えていく過酷で単調な作業でした。米は日本人の主食であるため、収穫の出来不出来は1年の生活を左右します。したがって田植えは、重要な行事であり、かつては村人の協同作業であり神を祭る行事(神事)でもありました。

ゴールデンウィーク (GW)

ゴールデンウィークとは、日本で毎年4月29日から5月5日の祝日が多い大型連休期間のことで、「GW」と略す場合もあります。現在では、4月29日(昭和の日)、5月3日(憲法記念日)、5月4日(みどりの日)、5月5日(こどもの日)が国民の祝日であり、また5月1日(メーデー)のため平日を休みにすることで長期連休になります。5月4日が1985年(昭和60年)の祝日法の改正で国民の休日になる以前は休日(飛び飛び)になることが多かったことから「飛石連休」とも呼ばれていました。



今後祝日法が改正されなければ来年9月の秋の秋分の日(23日)付近に長期連休ができる予定で秋のゴールデンウィークまたはシルバーウィークと呼ばれるそうです。

あなたの住んでいる「まち」についてどう思いますか？



多文化共生プロジェクト実施について

岡谷市国際交流協会の新事業として、岡谷市や諏訪地域に暮らす外国籍住民の皆さんにこの地域や日本の暮らしについての思いをインタビューし、その思いを顔写真入りのパネルにまとめた「多文化共生プロジェクト」を企画し、2月27日から3月5日までの8日間市内の諏訪湖ハイツとイルプラザカルチャーセンターを会場に「共に「暮らす」世界の住民～心のメッセージ展」として開催しました。メッセージ展を通して、外国籍住民の背景にある多種多様な文化を、地域の貴重な資源として多くの市民に認識してもらおうと共に、皆さんの日ごろの喜びや悩みなどを聞き、今後の多文化共生のまちづくりに役立つヒントを得るものでもあります。

今回のプロジェクトは主に国際交流協会の理事や評議員、ボランティアから構成された実行委員会にて企画され、インタビューは、20名以上のボランティアの協力によって1ヶ月に渡って実施されました。ブラジル、中国、フィリピン、アメリカ、イギリス、韓国などの17ヶ国 41名の外国の方に「住んでいるまちの好きなところ」、「日本に来て感じたこと思ったこと」、「住んでいるまちに望むこと」の3点をインタビューしました。パネルに登場した外国籍住民は小学生から50代まで、滞在期間も数ヶ月から19年までと様々でした。

外国籍の方の他に、様々な関わりを持っている日本人20名に「外国籍住民との関わり」、「今後望む交流」、「おすすめする場所やこと」などをインタビューしましたが、これらのインタビューを通じ、大勢の皆さんから大変興味深いご意見をいただくことができました。皆さんの要望・意見を生かしながらこれからの岡谷市をさらに住みやすい街、優しい街にしたいと思っております。







「～心のメッセージ展～」パネル

～外国籍住民の声～

インタビューを受けた外国籍住民8名を紹介します。詳しい結果が4ページに記載してありますので、ご覧ください！

ジェフリー・ジー アメリカ出身★10年滞在	望月イメルダ フィリピン出身★19年滞在	ラマ・ショフィア インドネシア出身★7年滞在	張翼 中国出身★6年滞在
<p>わたし「まち」の好きなところ 緑がたくさんあり 湖があって好き。我が家の裏庭を、毎朝コーヒーを飲みながら楽しんでいる。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 健康的な暮らしができてうれしい。外国人や異文化に対してもっと偏見のないオープンマインドをもってもらいたい。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 東京への新幹線があると良い。住宅地へのトラック進入の制限やインターネットアクセスの自由化を希望する。</p>	<p>わたし「まち」の好きなところ やまびこ公園、体育館周辺。自然が豊かで子供と一緒に遊ぶ、楽しむことができる。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 日本は安全で環境が良い。世界一良い国だと思っているが、最近はいろいろ恐ろしい事件が起こったりして社会不安を感じさせられることが多くなりました。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 岡谷市もパトロールを強化したりスクールバスを出したりすることが必要かと思う。また相互交流の場をつくり、理解合うことが大切だと思う。</p>	<p>わたし「まち」の好きなところ 自然がきれい。上高地や乗鞍など山がきれい。太鼓祭りやバドミントン、ボーリングが好き。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 初めは日本人女性とうまくコミュニケーションできなかったが、素敵な女性と出会って結婚した。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 昨年市営住宅に住みたいと思って見に行ったが状態が悪く断念した。リフォーム等整備して欲しい。また小さい公園はたくさんあるがスペースも狭く遊具がすぐない。</p>	<p>わたし「まち」の好きなところ 日本には四季があり、諏訪湖や周りの山々などが美しい。天気の良い日は霧ヶ峰、車山などドライブする。バドミントン、卓球が好きなので週1回クラブに通っている。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 岡谷には日本語教室があつて良い。日本人は皆やさしく礼儀正しくルールを守る意識が強いと思う。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 将来もここに住みたい。いじめを減らし、他の国の人ともっと交流したほうが良いと思う。</p>
タナカ・ヤラ	徐 正子	ノルベルト・ゴールドバーグス	マッシュー・テイラー

ブラジル出身★7年滞在	韓国出身★20年滞在	ラトビア出身★10年滞在	イギリス出身★3ヶ月滞在
			
<p>私の「まち」の好きなところ 祭りでサンバを踊ったこと。諏訪湖は白鳥に餌をやったり、散歩したり運動したりするのに良い場所になっている。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 日本には仕事があるから好き。働けば何でも買える。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 病院などに通訳が欲しいと思っている。</p>	<p>私の「まち」の好きなところ 岡谷市の全てが好き。自然が好き。自然が好きな人があつて皆親切で満足している。市や施設の催しを通して、子供いろいろ経験させてやれ感謝している。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 日本に来たときは孤独な思いをしたが(昔の話)日本人も韓国人も皆同じ人間だと思いついた。ここで暮らして良かった。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 外国人の困っている人ややさしい思いをしている人達に国際交流協会のことを教えてあげたい。</p>	<p>私の「まち」の好きなところ 岡谷はとても住みよいまち。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 初めは日本のイメージはハイテク機器があふれていたり細部が整ってたりするのではないかと思い違いもあった。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 日本に来て困ったのは子供の教育。外国人をケアしてくれる人がいなかったのが大変苦労した。子供たちがこれから日本で暮らすには読み書きが必要。学校の中での日本語対策を望む。</p>	<p>私の「まち」の好きなところ 諏訪湖、八ヶ岳の景色が気に入っている。</p> <p>日本に来て感じたこと、思ったこと 皆フレンドリーでいろいろ教えてくれる。みやすい。日本が好き、和食が好き。納豆やあんこはだめ。冬は寒いです。スキーが好き。日本語の勉強をしています。漢字がむずかしい。</p> <p>住んでいる「まち」に望むこと 国際交流のイベントがもっとあるといいね。日本人と外国人が知り合う機会がいろいろあると良いと思う。</p>

～日本人の声～

日本人に「あなたのまわりで多国籍な方と関わりはありますか」とインタビューしたところ、一緒に仕事をしたり、またお客さんとして応対したりと、主に仕事での関わりが多いようです。仕事でのコミュニケーションに関しては、しばらく時間が経つと慣れていき、問題がないという意見が多かったです。もちろん、仕事の後に食事をや遊びに行ったり、ボランティアで日本語を教えたり、ホームステイとして受け入れをしたり語学教室で会話をすることもありますが、話すことに緊張してしまう、関わりはないという方も多くいました。ここにインタビューを受けた日本人4名を紹介します。

 <p>高林 由季</p>	 <p>岩崎 二郎</p>	 <p>飯森 直子</p>	 <p>米山 奈津希</p>
<p>外国籍住民との関わり バイト先でお客様の外国人と話した程度。温泉やスポーツジムなどで自分から声をかけるね！</p> <p>交流に望むこと 季節は夏！諏訪の石彫公園でみんなまでフリーマーケットや母国の料理をアウトドアで作ったり、LIVEをやったり、夜は花火をしたりしてみたい。</p> <p>おすすめしたいこと、場所 諏訪湖の回りの公園。屋は太陽の光が反射してとてもきれい。夜も町の明かりが宝石みたいに見える。岡谷の足湯でのんびりする。冬はカモや白鳥がとてもかわいんだよ。</p>	<p>外国籍住民との関わり 英会話教室でのアメリカ人の先生との交流。自営のライブハウスでのイギリス人とのジャズセッション。</p> <p>交流に望むこと 一緒にテニスや音楽を楽しみ、生活習慣・考え方や文化の違いを知りたい。ホームステイの受入による交流も希望する。</p> <p>おすすめしたいこと、場所 音楽を中心としたイベント会場「ライブハウス・ファイブペニーズ」で気軽にパフォーマンスができるので声を掛けて欲しい。御野公園の紅葉はおすすめ。交流を望んでいる人が沢山いると思うので、ぜひ、イベントや祭りで岡谷の文化を楽しんでほしい。</p>	<p>外国籍住民との関わり 小学校長として多国籍の子供と保護者と接し、様々な相談を受けている。保護者には、ゆっくり話したり、学校だよりをひらがなで書いたりしてあげる。寂しい子供には、「一緒に頑張ろう！」と励ます。</p> <p>交流に望むこと 日本人がもっとリラックスして話をすればいい。ブラジルの子どもポルトガル語を話し、日本の子どもポルトガル語を積極的に覚えてもらいたい。みんなが楽しく過ごせるように努力すればと思う。</p> <p>おすすめしたいこと、場所 やまびこ公園、諏訪湖畔、市立図書館。スケートや雪遊び。日本のカルタやコマで遊ぶこと。</p>	<p>外国籍住民との関わり 会社で14名のアジアからの研修生・実習生の教育担当をしている。言葉は皆さんすぐに慣れ、これといって問題は無い。私は日本語ボランティアもやっている。</p> <p>交流に望むこと 仕事上で、お互いを理解し合い、もっと手助けしたい。日本の生活を楽しんで欲しい。</p> <p>おすすめしたいこと、場所 会社ではお花見とスキーをしている。四季を楽しんで欲しい。国内旅行がおすすめ。</p>



外国籍住民のインタビュー結果



「あなたの住んでいる「まち」の好きなこと、ところ、場所は？」

★好きなこと、ところ★

第1位 「自然の美しさを味わえる」
 春は梅や桜などのお花見、夏は諏訪湖畔での花火、秋は紅葉、冬は温泉やスキー等、四季を通して自然を味わえる、また、自然に触れることでリラックスできるという回答が多くありました。

第2位 「お祭りやイベント」
 太鼓の音をはじめ聞いて感動した、お祭りで母国の踊りを踊った、市が提供してくれる課外活動で様々な経験ができた等、イベントを通して地域市民との交流ができたという回答が多くありました。

第3位 「親切でやさしい」
 子供がみんなで挨拶してくれた、安心して暮らせる、掃除や雪かきをみんなで協力して綺麗にしている等、地域のあたたかさを評価する回答が多くありました。

★好きな場所★

第1位 諏訪湖
 みなさん過ごし方は様々で、散歩やジョギングを楽しむ、諏訪湖畔で桜を見ながらお花見、足湯でゆっくりする、水鳥を見る、夕日が綺麗なので癒される、スポーツや釣りをする等、思い思いの過ごし方で諏訪湖を楽しんでいるようです。

第2位 公園
 やまびこ公園でサイクリングやフリスビーをする、公園の展望台から諏訪地域全体を眺めることができる、公園から見るまちの夜景がとても綺麗など、子どもも大人も充実した時間を過ごせているようです。

第3位 山・高原と温泉
 スキーやスノーボードを楽しむ、山登りをする、ドライブが楽しい、景色がいい等、みなさん季節ごとに楽しんでいるようです。

「日本に来て感じたこと、思ったことは…」

第1位 治安が良い、街がきれい
 この意見はやはり多かったです。盗難・空き巣など身近な犯罪が少なくという印象をみなさん持たれるようです。

第2位 寒い
 暖かい国からきているみなさんには、信州の寒さは相当こたえるようです。みなさん体には気をつけてほしいです。

第3位 日本語、敬語が難しい
 これは日本人でも思うことではないでしょうか？敬語の正しい使い方を知っている人は、日本人でも少ないようです。漢字も日本語が難しいと感じる大きな要因のようです。

第4位 日本人は優しい、礼儀正しい
 困っているときに親切にしてくれた、などの意見が見られました。親切な人がもともと増えると良いと思います。

第4位 時間に厳しく、ルールを守る
 なぜそんなに時間に厳格なのかわからない、理解できないという意見もありました。日本という国の1つの特徴でもあります。

第5位 黙々と働く
 これはプラスとマイナスの両方から捕まえられる意見でした。なかにはロボットみたい・・・なんていう意見もありました。

第5位 日本食がおいしい
 人気なのはお寿司、お刺身などの典型的なものから肉じゃが、お魚など家庭料理まで様々でした。日本の独特の食文化は外国籍

住民の方にも興味深いものであるようです。少数派の意見にも

- 社会のルールが厳しくプレッシャーが強すぎる
- 外国人だからといって挨拶してくれない人がいて差別を感じる
- 日本人の繋がりは薄い感じで深い友情を築くのが難しい
- 家族間の殺人など、社会不安を感じさせるニュースが多くなってきた
- 日本人は物事をはっきり言わないので、裏では何を考えているかわからないことがあるなどというものから、温泉に入るのが恥ずかしい！という意見もありました。

「あなたの住んでいる「まち」望むことは…」

このまちに住んでいる外国籍の方は、もちろんいろんな希望がありますが、一番多かったのはやはり公共サービスという点でした。

これは外国籍住民の中には運転免許を持っていない方が多いということが要因に挙げられました。電車やバスしか移動手段がないため、1時間に1本の電車運行数や終電の早さ、バスの不便さなどが日常生活に大きな支障をきたしているようです。

他にも看板・案内に多言語のものが欲しい、図書館に日本語の教材などが欲しい、利用できる公共施設の情報が欲しい、病院などに通訳をおいて欲しい、などの日常生活に関する意見が多く見られました。他にも在日期間が長い方からは、選挙権が欲しい、街の安全確保に努めて欲しい、国際交流の場がもっと増えるといい、などの意見をいただきました。

